

狛江市多摩川土手の天端に係るコンセプト素案

パブリックコメント実施結果概要

1. 結果概要

(1) 意見募集期間

平成28年1月15日(金)～2月15日(月)まで

(2) 意見提出者数

10人(内 メール：4人、市ホームページ：4人、郵送：2人、FAX：0人)

(3) 意見総数

46件

パブリックコメント回答（集約）

NO	内 容	回 答
1	誰もが快適に通行できる平坦で、水たまりができないようにしてほしい。	本素案では、「誰でも心地よく利用できる」、「平坦性・水たまりがでにくい」をキーワードとして挙げております。
2	狛江部分が未舗装の砂利道でとても歩きにくく、気を遣って歩いています。特に高齢者は気を遣いながら歩いている光景を見ると大変だと感じます。孫をベビーカーに乗せてよく散歩するのですが多摩川の流れを見られず残念がっています。	本素案では、コンセプトとして、「ユニバーサルデザイン」を位置付け、「誰でも心地よく利用できる」、「車いす・ベビーカーでも利用しやすい」をキーワードとして挙げております。
3	ベビーカー、車椅子の方など、どの世代にも活用できる多摩川であってほしい。	
4	現状の砂利道は子供や高齢者にやさしくない。	
5	過度の「平坦性」は自転車の高速化による危険増大と他の利用形態の排除を招き、却ってユニバーサルデザインに反します。	アンケート結果から平坦性は重要であると考えております。また、同様に「歩行者の安全確保」も重要であると考えております。
6	「水たまり」について通行に大きな支障のない小さな水たまりに限っては、補修時期の目安として放置するの一案だと思えます。	アンケート結果から水たまりがでにくいことは重要であると考えております。
7	洪水を防ぐという土手の効果が最も発揮できるよう頑丈にしてほしい。	土手本来の目的の視点を追記するよう検討いたします。
8	周辺住民が安心・安全に生活できるという視点はこれも入れておこうという程度しか入っていません。	
9	周辺住民にとって安心安全な土手とは水害の起こらない土手のことです。	
10	川にある堤防は、決壊しないことが第一の前提であり、それが担保されて利活用や自然保護を考えるべき。	
11	利活用の過程で移動手段の道路としての土手の天端に着眼しすぎている。	
12	治水上の安全性の言及は、整備を計画する上でコンセプトだと思います。	
13	「安心・安全」の項目に自転車と歩行者のことばかりなのはどのようなのでしょうか。	アンケート結果から自転車と歩行者の安全は重要であると考えております。
14	自転車事故については、土手の作り方だけでなく、マナーや意識の向上など個人でもできる対策をとることが可能である。	
15	「キーワード」のほうでは、「安全で管理しやすい構造」と書いています。なぜここに「管理しやすい」が入ってくるのか。	管理しやすい構造の方が、管理が行き届くため、安全も担保されやすいと考えております。
16	例えば「治水機能に影響しない、安全な構造」のほうが理解しやすい。	説明の中に追記するよう検討いたします。
17	この素案のアンケートの結果にもあるように、安心安全な道であることが一番であると思えます。	安心・安全は素案においてもコンセプトとして位置付けております。
18	子どもや自転車が安全に行き来できるよう希望します。	「歩行者の安全確保」も重要であると考え、キーワードとして挙げております。
19	近現代の歴史遺産が乏しく、明治大正期の建物などは皆無、産業遺産も残っておりません。唯一あるのが土木遺構である多摩川土手と玉翠園の玉石護岸です。	多摩川は、水と緑のまちである狛江を象徴するものであり、たくさんの人から愛され、支えられていることからコンセプトとして「周辺との調和」を位置付けております。
20	景観や自然保全の視点、歴史的な土木遺構として近現代の狛江市におけるもっとも重要な遺産であることを忘れてはならない。	
21	「キーワード」が「環境に優しい」、「景観の維持」であるから、コンセプトが「周辺との調和」ではおかしい。例えば「環境との調和」に変更すべき。	環境だけでなく、周辺の景観も大切であると考え、「周辺との調和」とさせていただきます。
22	「狛江古代カップ多摩川いかだレースや花火大会などの季節のイベントやお花見の季節には他の自治体からも多くの人から訪れ、多摩川は市内外のたくさんの人から愛され、支えられています。」は、1番目のコンセプトの文章と重複部分が多いので削除し、1番目に統合して文章整理すべき。	多くの人から訪れ、愛されている多摩川の環境、景観を守る必要があるということでコンセプトの基本的な考え方に記載しております。
23	「環境に優しい」は環境、景観ともに周辺と調和した一体として守り育てて行く、市外からの利用者に対してもその責任を負っていることだと理解しました。	今後も市民が誇れる景観を守るとともに、周辺の環境にも十分配慮をし、他の自治体の住民にも愛されるよう、周辺との調和を重視していくことが重要であると考えております。

NO	内容	回答
24	「景観の維持」のためには、そのまま絵になる風景を守ることを具体的な要件のひとつとしてはどうでしょうか。	今後も市民が誇れる景観を守るとともに、周辺環境にも十分配慮をし、他の自治体の住民にも愛されるよう、周辺との調和を重視していくことが重要であると考えております。
25	国に舗装してもらいたい。	ご意見として承ります。
26	舗装をお願いします。	
27	現在の良さを生かした土手天端の修理を考えてください。	
28	土手の舗装には反対であり、今のままの転圧小砂利舗装が優れていると考えます。	
29	天端の改善を早急にしてほしい。	
30	歩行者より自転車の割合が高いので道幅を広くし区分けをはっきりさせたほうがよい。	
31	舗装する際には去年の鬼怒川のようにならないよう治水工事も見直しの上実施してほしいです。	
32	舗装するのであれば維持管理が簡単でお金がかからないようにしてほしい。	
33	天端と直結する坂や階段は一体として整備すべきです。	
34	多摩川からホームレスの転居に取り組んでほしい。	
35	対岸の高層建築や光害から山々や夕焼け、星空の眺めを最低限守り抜き、来るべき高層建築や工場の建替え時に移転や低層化は実現され、次第に景観が回復することに取り組んでほしい。	
36	適切な現状分析と検討に基づき、健常者や既存利用者の心理や生理(運動要求など)、安全とのバランスのとれた方針を立ててください。	
37	市内からのアクセスを同時に整備、改善し、送迎やオフロード向きの車椅子の貸出しの整備に取り組んでほしい。	
38	「3つのコンセプト」の他に身近な野外として心身の健全な発達及び学習に資すること、実現可能性と持続性も大事だと思います。	
39	基礎資料に、武蔵野の道話し合い会報告書とその当時の資料などが入っていないのはおかしい。	
40	デジャブ既視感を大切に土手の保全をお願いしたい。	
41	昔の姿を残すという意味合いをアンケートに入れていないのはそもそもスタートの発想が欠けている	
42	多摩川住宅のスロープから一般道にどれくらい迂回しているかカウントすべきです。	
43	教育資源として大切に残してほしい。	
44	自転車と人の接触事故の統計の取り方がおかしい。	